

豊島区 オンライン会議・デジタルツールについてのアンケート 集計結果報告

東京都デジタルサービス局戦略部

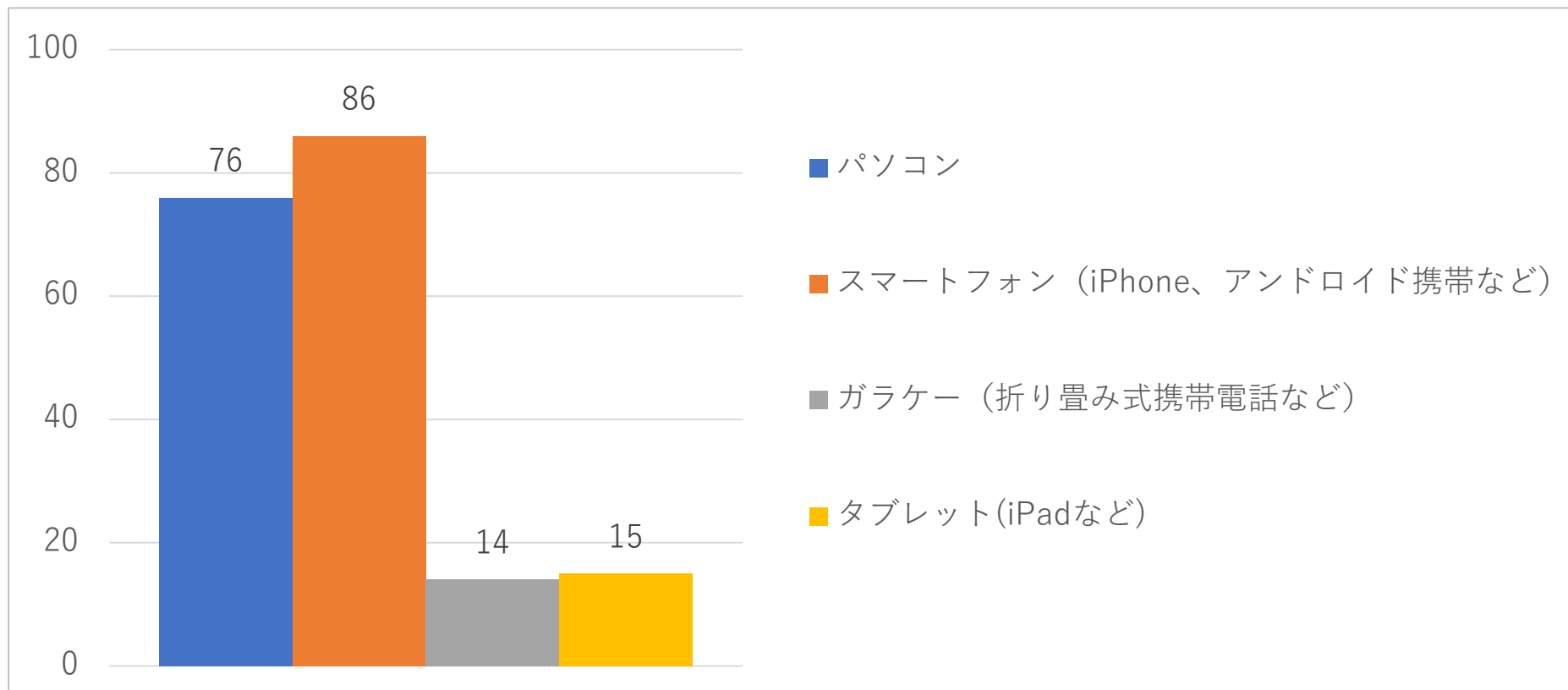
■調査対象

豊島区町会長 129名（回答99名）

■調査数内訳

第一地区	第二地区	第三地区	第四地区	第五地区	第六地区
14	14	10	12	8	9
第七地区	第八地区	第九地区	第十地区	第十一地区	第十二地区
5	7	5	4	4	7
合計					99

1.パソコンやスマホなどのデジタル機器について、ご自身でお持ち、もしくはご家庭などで利用することができるものを教えてください。（いくつでも）

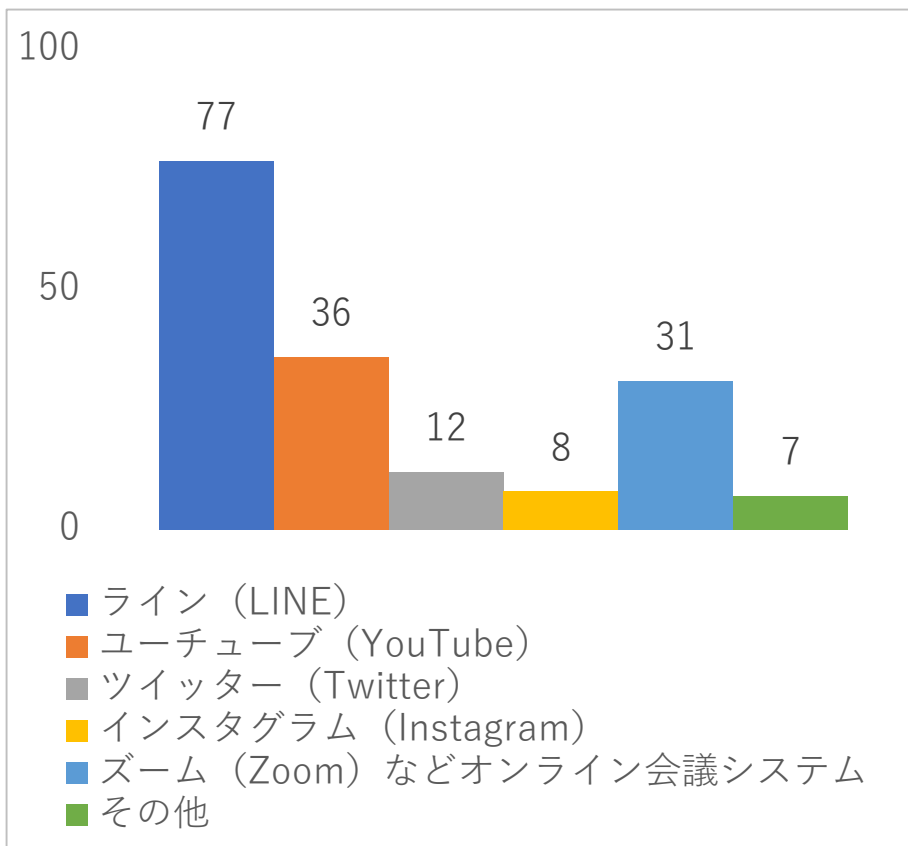


特徴・分析

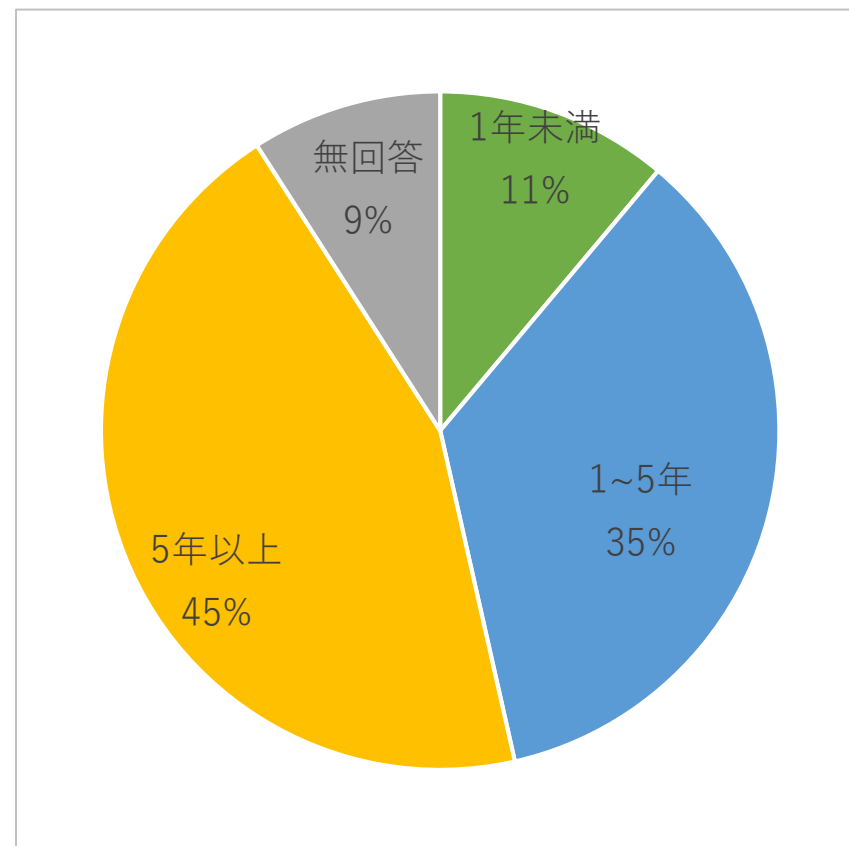
- ・利用しているデジタル機器は最もスマートフォンが多く、次いでパソコンが多くを占めている
- ・その他の機器の利用はかなり少なく、スマートフォンやパソコンの利用が最も一般的に普及されていることがわかる

1. スマホ活用状況について

2. パソコンやスマホなどから使うサービスについて、これまでに使ったことがあり、ある程度利用方法がわかるものを教えてください。（いくつでも）



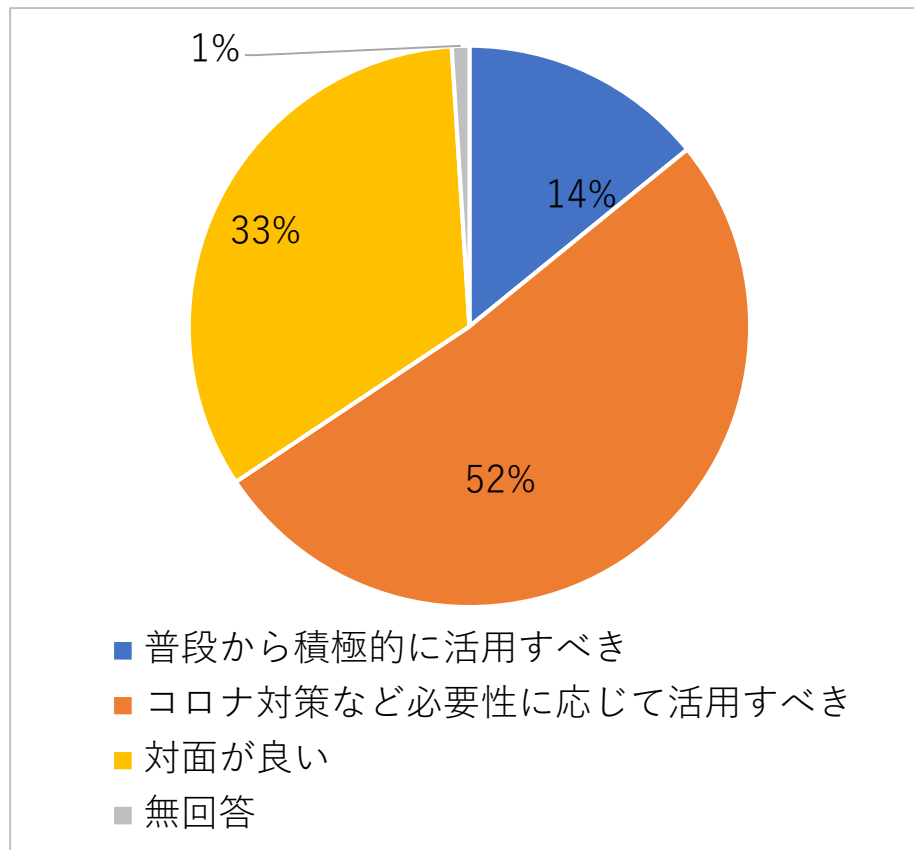
3. ご自身のスマホの利用歴は、どのくらいですか？（ひとつだけ）



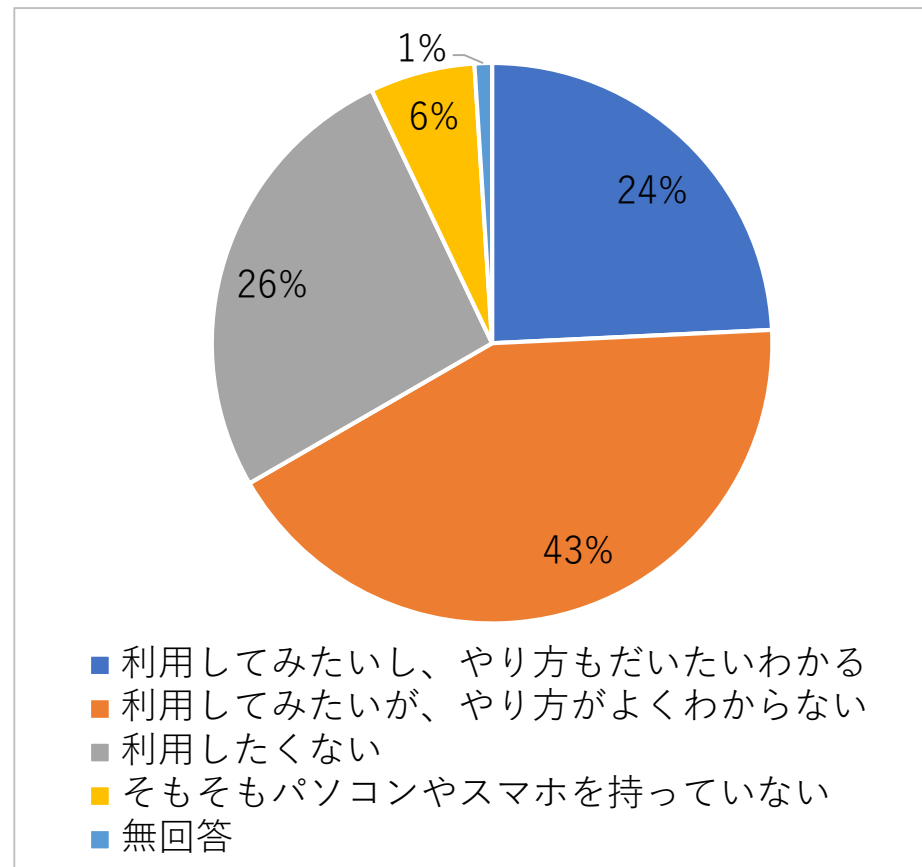
特徴・分析

- ・利用サービスでは、LINEが多くの票を集めており、デジタル機器を連絡手段として利用しているケースが多いと考えられる
- ・スマホの利用歴は5年以上が4割を占めているが、1年未満と利用を始めたばかりの方も1割見られる

4. 区政連絡会にオンライン会議システムを活用すべきと思いますか？（ひとつだけ）



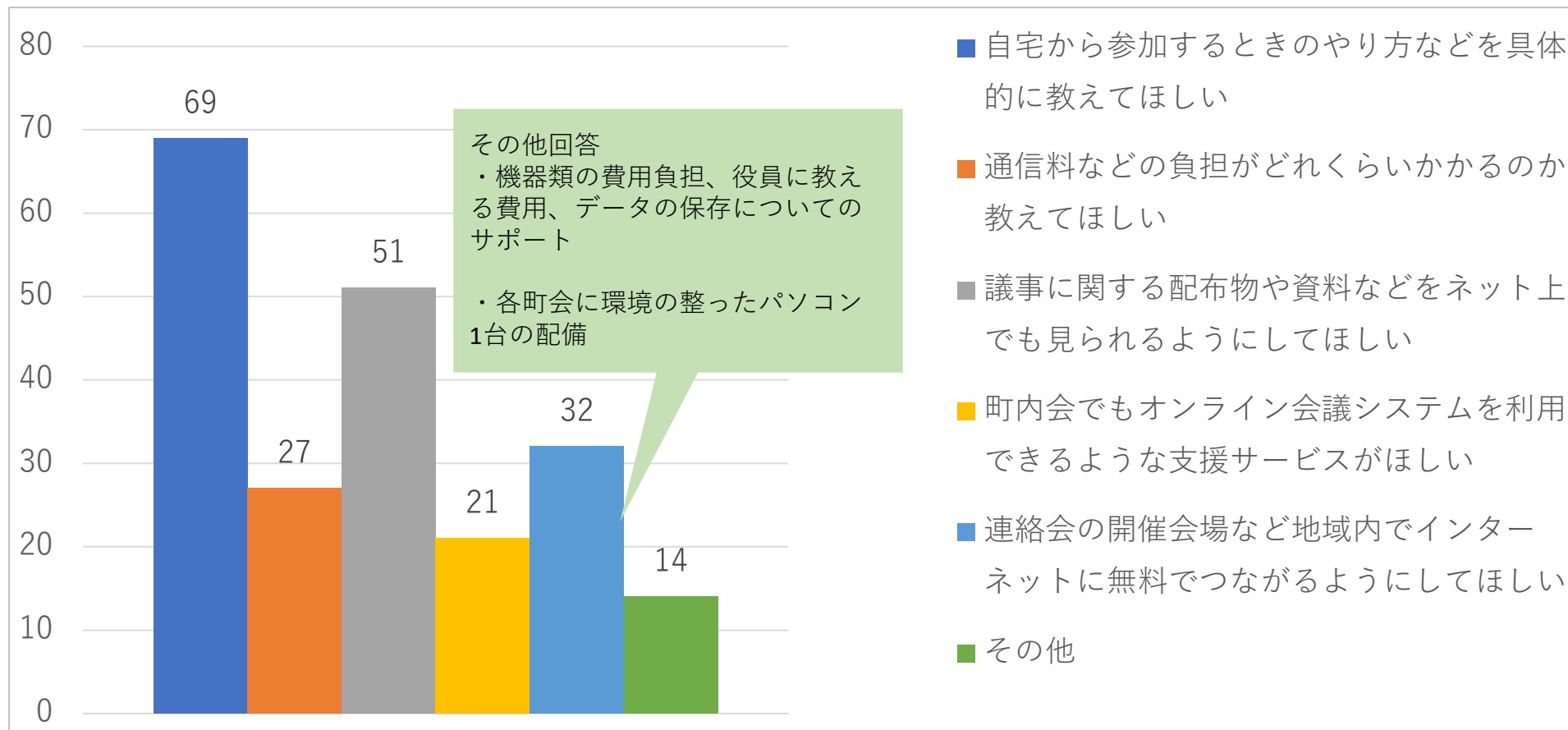
5. 皆さんがお持ちのパソコンやスマホなどから、オンライン会議システムで区政連絡会に参加できるとしたらやってみたいですか？（ひとつだけ）



特徴・分析

- ・ オンライン会議は、必要に応じて活用すべきという意見が多く、一方でやはり対面が良いという意見も多くみられる
- ・ 43%の方が利用してみたいがやり方がよくわからないと回答している

6. 区政連絡会に委員の皆さんがオンラインで参加できるようにしていくために、これから区や都にどのような支援を期待されますか？（いくつでも）



特徴・分析

- ・ 区や都に期待する支援として、69%が具体的な利用方法を教えてほしいと回答している
- ・ 配布物や資料をネット上で見られるようにしてほしいという声も多い

7. 区政連絡会にオンライン会議システムを活用していく上で、課題や心配になるところがあれば教えてください。（自由記述）

ポジティブ意見

- ・意欲はあっても、能力が追い付かないため、パソコン教室、スマホ教室を開催してほしい
- ・当町会では外部アドバイザーの支援を得ているため、一部町会役員はZoomを使用してオンライン会議を行なっている

ネガティブ意見

- ・スマホを使いこなせていないので、オンライン会議を活用する自信がない。そもそも拒絶感情を払拭する必要がある
- ・関係が稀薄となり、問題が生じたときに十分な連携がとれなくなることが危惧される
- ・セキュリティや操作面、ネット環境が心配
- ・スマホもパソコン今のところ持つ予定もない

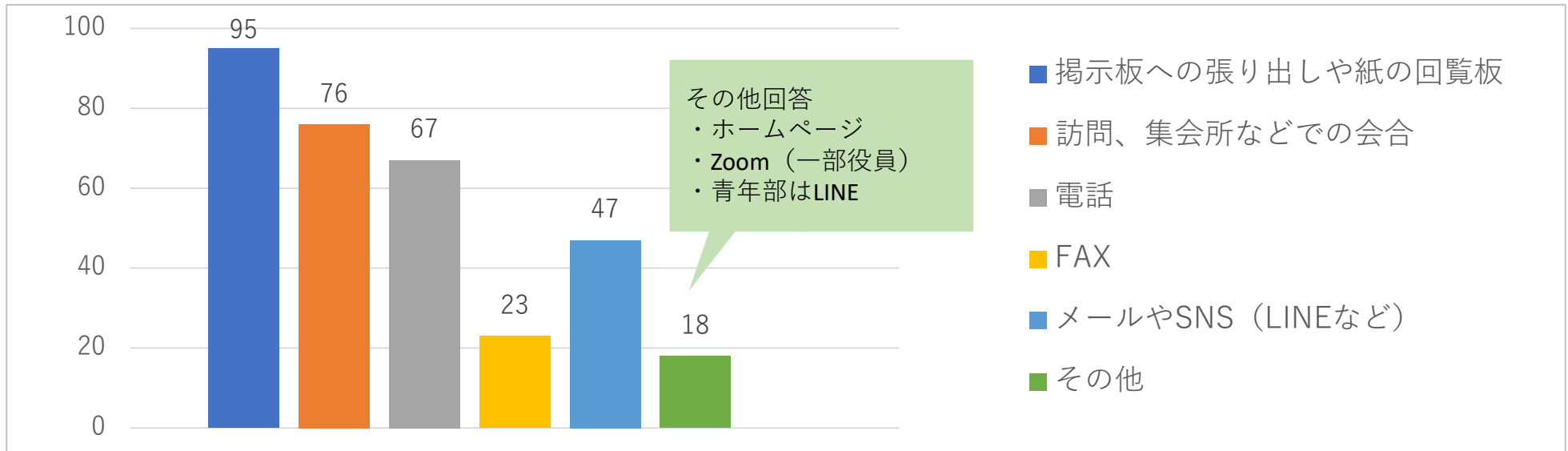
その他意見

- ・オンライン会議システムを活用する上での初期費用を具体的に教えてほしい、その上で補助がでるのか知りたい
- ・オンライン会議で使用する資料については、従来どおりのもので会議当日までに送付して貰いたい
- ・世代交代によって、デジタル社会に対応できる人材の育成を図ることが必要

特徴・分析

- ・導入には関心がありながらも、わからないことが多く、技術的・経済的サポートが求められている
- ・一方でデジタル機器を持つ予定のない人もいるため、ハイブリットでの開催が現実的かと思われる

8. 現在町会内でのコミュニケーションはどのような形式で実施していますか？（いくつでも）



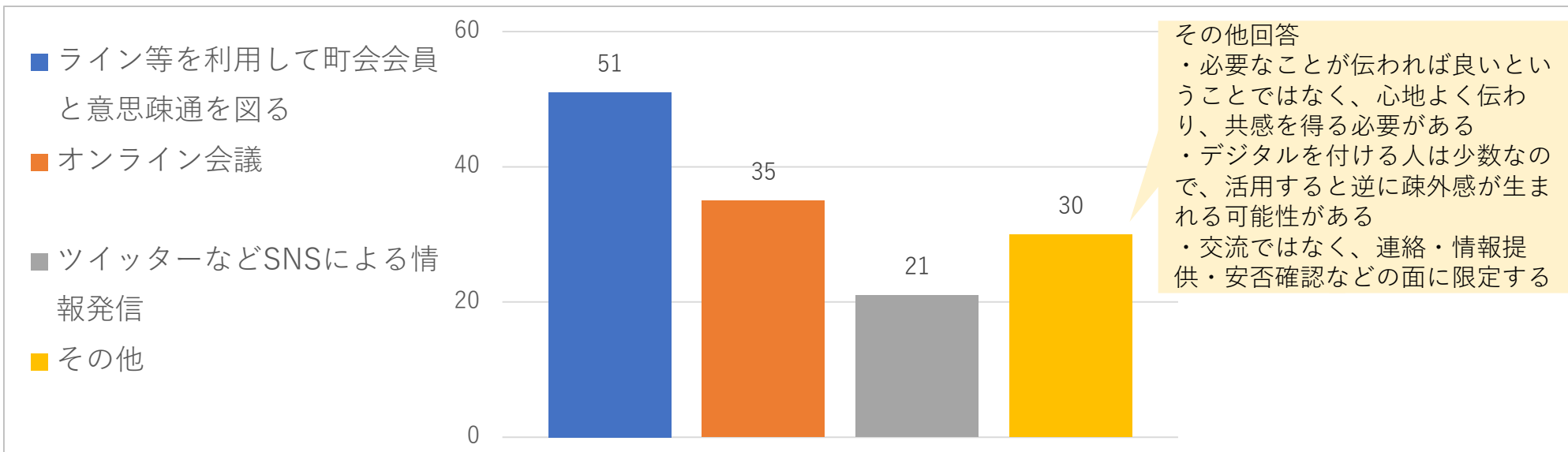
9.現在のコミュニケーションに課題を感じていますか？（自由記述）

- ・回覧板の廻りが遅く、周知されない場合がある。高齢化により回覧板を廻す人がいない。辞退される。
- ・HPも運営しているが、閲覧者が少なく年配者は利用が限られる
- ・祭礼、運動会等が中止となり地域のコミュニティが壊れつつある
- ・コロナ禍で掲示板を見てもらう機会が減ったが、回覧板でカバーできている
- ・役員さんでも携帯番号、メール、等の個人情報は提供してもらえない方もいる
- ・ラインで行なうと返事が早く来るので便利である一方、ガラケーを使っている役員に改めて電話するのが不便

特徴・分析

- ・回覧板が機能している・していない点からも、コミュニケーションについては町会ごとの特色の強さが伺える
- ・返事が早く来るという、紙出力では求められていなかったコミュニケーションをLINE等ではかなえられる

10. デジタルを活用して、どのようなコミュニケーションがとれると良いかと感じていますか？（いくつでも）



11. コミュニケーション活性化のために何か取り組んでいる／取り組みたいことはありますか？（自由記述）

- ・若手の考えを上層部に伝えること。世代交代に向けた後継者の発掘と育成
- ・年配者でもスマホ、パソコンを活用しホームページ、メール等を利用出来るよう講習会を開催したい
- ・町会のホームページ作成を検討し始めたことがある。作るだけでなく、続けることもかなり労力を使う
- ・町会活動などの地域密着の活動に関しては、お互い顔を合わせ、直接コミュニケーションを取る事が最も必要な事であり、そこをデジタル化してしまう事は逆に避けなければいけない事ではないか
- ・コロナ禍で対面から電話連絡へ移行したが、メールでの連絡手段の構築を考えたい

特徴・分析

- ・LINEなどから若者の考えをいれたいと考えている町会が多い
- ・一方、デジタルがコミュニケーションを希薄化させる・分断を生むという考えも見られる

3. デジタルツールを活用した情報共有について

12. 町会でのデジタルによるコミュニケーション活性化のために、これから区や都にどのような支援を期待されますか？（自由記述）

ポジティブ意見

- ・学習する場と機器を含めたインフラなど、環境を整えるべく全面的支援
- ・マニュアルやパンフレットの作成・配布
- ・各町会へパソコンやタブレット端末、Wi-Fi機器などの購入資金の提供または無償貸与
- ・豊島区にデジタルインストラクター制度（担当部署）の常設化、巡回

ネガティブ意見

- ・デジタル化にはハード、ソフトどちらも各人で準備しなければならないので、現状では、かなり無理がある（町会長は対応できても、その先の個人は無理ではないか）
- ・当町会ではデジタル化する予定は無い
- ・期待しない

その他意見

- ・活用教室を開催する場合、講師となる方をどのような手続でお願いしたらよいのか。
- ・町会連並びに129町会のホームページ。情報の受発信機能を持たせ定期的に更新出来るもの
- ・先進取り組み事例紹介（成功事例だけでなく、失敗事例も含め）

特徴・分析

- ・学習機会と通信設備を含め包括的なインフラの支援と・経済支援を求める声が多多数
- ・学習には、操作など技術的な学習と情報保護などのリテラシー部分の学習が求められる
- ・無償貸与を望む声など、デジタル機器を持っていない人とのギャップが課題となっている